

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

さんぎょうかつどう ささ とう じゅうようこうつうきよてん  
産業活動を支えるIC等の重要交通拠点へ  
アクセスする道路の整備

しまねけん  
島根県

平成28年2月

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成28年2月1日

計画の名称	1 産業活動を支えるIC等の重要交通拠点へアクセスする道路の整備									
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）			交付対象	島根県					
計画の目標	空港や重要港湾、整備が進みつつある山陰道等高規格道路ネットワークを活かした産業振興、観光振興を支え、地域経済を活性化し、豊かで活気のある地域を形成する。									
計画の成果目標（定量的指標）	インターチェンジへの30分アクセス圏域面積をH21当初の47%からH25末までに58%に拡大する。（東部地域） インターチェンジへの30分アクセス圏域面積をH21当初の45%からH25末までに54%に拡大する。（西部地域）									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H21当初)    中間目標値 (H23末)    最終目標値 (H25末)    備考			
① GISメッシュを利用し、道路現況データ（H17センサス）及び整備計画からインターチェンジへの30分アクセス圏域面積を算出する（東部地域）							47%	53%	58%	
② GISメッシュを利用し、道路現況データ（H17センサス）及び整備計画からインターチェンジへの30分アクセス圏域面積を算出する（西部地域）							45%	51%	54%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	12,380 百万円	A	12,355 百万円	B	0 百万円	C	25 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
島根県において評価を行い確定	事業完了後
	公表の方法
	島根県ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
1-A-1	道路	一般	島根県	直接		国道	改築	国道431号 川津バイパス	バイパス, L=8.1km	松江市						1,500	※原発
1-A-2	道路	一般	島根県	直接		国道	改築	国道432号 大庭バイパス	バイパス, L=1.9km	松江市						620	
1-A-3	道路	一般	島根県	直接		国道	改築	国道432号 古志原	現道拡幅, L=1.0km	松江市						2,935	
1-A-4	道路	一般	島根県	直接		都道府県道	改築	(一)出雲インター線 大島	現道拡幅, L=0.6km	出雲市						420	
1-A-5	道路	一般	島根県	直接		都道府県道	改築	(一)熱田インター線 熱田	バイパス, L=1.1km	浜田市						610	
1-A-6	道路	一般	島根県	直接		都道府県道	改築	(一)浅利渡津線 渡津	バイパス, L=2.74km	江津市						6,270	
											合計	12,355					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24	H25			
1-C-1	計画・調査	一般	島根県	直接		計画調査	道路整備計画策定・評価	事業効果調査、指標数値算出	全域							25	
											合計	25					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	社会資本総合整備計画の目標をより効率的・効果的に達成することを目的として、全体的な計画策定や評価等を行う。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道431号川津バイパスの4車化により、「松江だんだん道路」への接続が強化された。</li> </ul>			
--------------------------------	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（30分アクセス圏域の割合（東部地域））	最終目標値	58%	目標値と実績値に差が出た要因	概ね目標どおりに進捗した。
		最終実績値	61%		
	指標②（30分アクセス圏域の割合（西部地域））	最終目標値	54%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	53%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道431号川津バイパスの4車化と「松江だんだん道路」の開通により、松江市内の交通が分散され、市街地中心部の渋滞が緩和された。</li> </ul>			
--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な整備により、引き続きアクセス圏域の拡大に取り組む</li> </ul>					
---	--	--	--	--	--



**(参考図面 1/2) 活力創出基盤整備**

1 産業活動を支えるIC等の重要交通拠点へアクセスする道路の整備  
 (平成21年度～平成25年度)

島根県

